

2022-23 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1524回(31)

会長 笹田 博之 幹事 内山 春夫

クラブ会長テーマ



「想像力を高めて変化に対応、社会に貢献」

日時	2023年4月11日(火) 12:30 ~
場所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点鐘・ソング「我等の生業」 ゲスト・ビジターの紹介（出席報告参照） 入会式 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告
その他情報	メイクアップ情報（来週分） メイクアップ情報（再来週分） 今後の行事予定 クラブ活動報告



IMAGINE
ROTARY

【 会 長 報 告 】

今月のロータリー月間はロータリークラブの重点分野の一つである(母子の健康)です。ロータリーインターナショナル(母子の健康)のサイトを調べてみますと毎年 5 歳未満で命を落とす子供は全世界で推定約 590 万人で、その原因は栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如などでどれも予防が可能なものばかりということです。

ロータリーの活動としては教育、予防摂取、出産キット、移動クリニック開設等、可能な限りありとあらゆる方法で(母子の健康)を推進しています。それと共に幼い命を救う医療支援も行っています。実際のロータリーによる活動例では(出産前ケアの移動クリニック)ということで、母子の死亡率がもっとも高いカリブ海にあるハイチにおいて医療機器を搭載したジープの寄贈、インドにおいては可動式のがん検診機器の提供。また自宅出産を安全に行うため、世界のロータリー会員が 300 万ドルを投入して 5 年間の試験的プロジェクトを開始し、出産による合併症に対する治療活動も行っています。

日本においては世界的にも医療技術が高く、病院施設も整っているとはいえ 5 歳未満の子供の死亡率は 1000 人あたり 2、3 人で、日本の人口は約 1 億 2500 万人ですので数字的には 12 万 5000 人以上が毎年何らかの事情でなくなっています。世界平均では 5 歳未満の死亡率は 1000 人あたり 37 人で日本のやく 16 倍となっています。それも生後 28 日以内の新生児の死亡率はその内の約半数とのことです。いかに発展途上国での出産医療に関する整備と対応が遅れているかがわかります。その様な状況下のなかで、国際ロータリーは予防可能な原因により母と子供の貴重な命を落とすことなどあってはならないと考え、全ての母子が質の高い医療を受けられ、出産で命を落とす母親がいなくなり、子供がすくすくと成長できる様に地道な支援活動、取り組みを行っています。

現状にあってはまだまだ世界レベルでの十分な医療体制を整備していくことは大変難しいとはいえ、継続支援活動のなかで少しでも幼児の死亡率が世界的にも減少させていくことを国際ロータリーは目指しています。

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	米山梅吉記念館より ・会報 ・賛助会ご入会のお願い
2	福山スポーツ協会より ・スポ協ふくやま
3	

【プログラム情報】

《入会式》

【新入会員紹介】

氏名	渡邊 祥子 さん
生年月日	昭和51年10月14日
職業分類	総合印刷・広告代理業
推薦者	吉山 聡 さん
アドバイザー	下平 靖孝 さん
所属委員会	親睦委員会/社会奉仕委員会



《 PETS 報告》



【報告者】会長エレクト 瀬尾 義裕

1 開催概要

日 時：令和 5 年 3 月 12 日（日）

場 所：ホテルグランヴィア広島

時 間：午前 10 時～午後 6 時 35 分

2 2023-24 国際ロータリー 会長テーマ



2023-24 年度 RI 会長テーマ

Create Hope in the World

世界に希望を生み出そう

2023-24 年度国際ロータリー会長

ゴードン R.マッキナリー

サウスクイーンズフェリー RC（スコットランド）

私たちは、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的な時であり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし私達の最も優れた仕事のいくつかは、他の人達の継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。全てのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたことで、ローターアクトたちは全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなる熱意を示すことで、私達を勇気づけています。

継続のもう一つの優れた例に、女児のエンパワメントがあります。世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、この仕事を引き継いでいきます。

私はまた、多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)を促進するためにロータリーが遂げてきた全ての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。DEI を全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEI の最も重要な側面は、ロータリーを、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。

継続には、他にも 2 つのテーマがあり、これらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。ひとつめがポリオです。ポリオの根絶は依然としてロータリーの最優先事項です。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの 35 年間を、私達は誇りとする事ができます。ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低 5,000 万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言われたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私達に必

要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約 12 人に 1 人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも 5 分の 1 を下回っています。

行動計画のうち、皆さん全員に暗記してほしいと思う部分があります。それは以下のビジョン声明です。「私達は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

このビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

ひとつは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去 1 年間に私達が行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界の数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、全ての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006 年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れた時、2004 年末の津波で夫、娘、息子を失った女性から美しい貝殻をもらいました。彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。また、私は長年その作品を愛し、収集してきたスコットランドの最も偉大なアーティストの一人、ジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使う色を選んで、世界の色を反映させ、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思いました。このタイの女性との思い出と選んだ色から、私はテーマが何であるべきかに気づき、2023-24 年度テーマは「世界に希望を生み出そう」としました。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの人が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代のひとつが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

次年度の私達の計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒すこと、そして、私達自身の内面的な闘いと向き合うために、お互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動全てにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私達自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私達が得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

(2023/1/9、ゴードン R. マッキナリー氏テーマ講演より抜粋)

3 2023-24 第 2710 地区 地区運営方針

次期 RI 会長のテーマを踏まえ、2023-24 年度のカバナー信条を以下のようにします。

“平和の種をまこう!! ～ロータリアンにできること～”

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである、と書かれています。また、ロータリー財団の使命も、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成すること、とされています。すなわちロータリーは奉仕活動を通じて、世界の平和を希求することをめざす人々の集まりといえると思います。

1945 年、ロータリーは国際連合（国連）や国連教育科学文化機関（ユネスコ）の創立に重要な役割を果たしました。その後も紛争を解決し、平和を築く人材の育成のために、世界にロータリーセンターを設立するなど、平和を希求する精神はゆるぐことはありません。しかし世界中では紛争は絶えず、直近ではロシアのウクライナへの侵攻という憂うべき事態が発生しています。これに対して現在の国連の無力さが叫ばれていることも事実です。

ロータリーは、司法権もなければ、宗教でもない、軍隊も戦車もなく、非政治的な態度をとっています。こうした組織が平和のための真の力となれるのか、という懐疑的な見方もありますが、紛争の原因は飢餓や貧困、経済的格差、民族差別など、社会を構成するひとりひとりの営みや意識に起因しています。ロータリー財団のめざす 7 つの分野での目標を達成することによって、それらの紛争の原因を取り除き、平和への道すじを作ることも可能だと信じます。

私の所属する広島南ロータリークラブでは、2 度にわたって国際的な平和会議を主催してきました。すなわち 1 度目は 1988 年 1 月、松尾明 PG のもとで、在広 8 クラブの協力をえて、世界 14 カ国からロイス・アビー RI 会長をはじめとする 660 名のロータリアンが集まりました。2 度目は 2013 年 5 月、川妻二郎 PG のもとで在広 13 クラブの協力をえて、世界 52 カ国から田中作次 RI 会長をはじめ 2,763 名のロータリアンが広島に集い、世界平和達成のために何ができるかを討議しました。平和を希求する精神は常に繰り返して語り続けられなければなりません。さらに世代の壁をこえて全ての人々が協力しつつ、何らかの行動を起こす必要があります。

2023-24 年度は、繰り返して語るべき“平和を希求する精神”の涵養をめざす 1 年にしたいと思っています。

第 3. 地区、各クラブにおいて達成すべき目標

1) RI 会長テーマ、カバナー信条をふまえた“奉仕プロジェクト”の実施

- ① 社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、のいずれかのテーマでの奉仕プログラムを実施して下さい
- ② 地区補助金、グローバル補助金を大いに活用して下さい

2) RI の行動目標としての“会員の基盤を拡げる”ための取組み

- ① 会員の増強（地区全体で 3,200 名の会員を維持する）をはかって下さい
- ② 新クラブの結成を模索して下さい
- ③ ローターアクトクラブの支援をして下さい

3) マイロータリーの利用とロータリー賞へのチャレンジ

- ① 各クラブで会員のマイロータリーへの登録割合をふやして下さい
- ② クラブ・セントラルへの目標の入力、報告の入力をして下さい

4) ロータリー財団への支援をお願いします

- ① 年次基金 150ドル以上/クラブ会員1人当り
- ② 恒久基金 ベネファクター1名以上/クラブ当りまたは1,000ドル以上/クラブ当り
- ③ ポリオプラス基金 30ドル以上/クラブ会員1名当り
- ④ 冠名基金、大口寄附も考えて下さい

5) 米山記念奨学会への支援

- ① 16,000円以上/クラブ会員1人当り
- ② 賛助会員(3,000円/年)への入会

第4. 地区内主要行事

- | | | |
|----------------|------------------------|-----------------------|
| ・第13期RLI、PartⅡ | 2023年 4月 2日(日) | 広島YMCA 国際文化センター |
| ・地区研修・協議会 | 2023年 4月 23日(日) | 広島国際会議場・ホテルグランヴィア広島 |
| ・第13期RLI、PartⅢ | 2023年 6月 4日(日) | ホテルグランヴィア広島 |
| ・地区大会 記念ゴルフ大会 | 2023年 11月 10日(金) | 広島カントリー倶楽部西条コース |
| ・地区大会、1日目 | 2023年 11月 11日(土) | リーガロイヤルホテル広島 |
| ・地区大会、2日目 | 2023年 11月 12日(日) | グリーンアリーナ・リーガロイヤルホテル広島 |
| ・RYLA | 2024年 3月 15日(金)-17日(日) | 国立江田島青少年交流の家 |

第5. 関連する海外行事

- ・RI 第3690地区大会(姉妹地区) 2023年 4月 28日(金)-29日(土) 韓国、仁川
- ・国際ロータリー第114回年次大会 2023年 5月 27日(土)-31日(水) オーストラリア、メルボルン
- ・国際協議会 2024年 1月 7日(土)-11日(木) アメリカ、オランダ
- ・国際ロータリー第115回年次大会 2024年 5月 25日(土)-29日(水) シンガポール

4 各テーマ別研修

- ① 井内 ~地区運営方針~
- ② 永田 ~クラブ活性化と財団~
- ③ 杉川 ~ロータリーイメージ~
- ④ 吉原 ~米山記念奨学事業~
- ⑤ 藤中 ~ロータリー財団~
- ⑥ 前田 ~会員増強~
- ⑦ 井内 ~クラブ会長の役割と責務~

5 その他

次次年度国際ロータリー会長

ステファニーA アーチック(米国ペンシルバニア州:マクマリーロータリークラブ)

以上

【追悼・細井資伸さんを偲んで】

弔辞

故 細井 資伸氏もとのぶしを偲び 謹んで哀悼の意を捧げます
この度の突然の訃報に接し 私ほただ呆然とするばかりです
あなたのような人物を失うことは 福山西ロータリークラブにと
っては非常に残念なこととなりません

あなたはクラブ設立以来のチャーターメンバーであり、二〇〇八
年度から二〇〇九年度にはクラブの会長も務められました

クラブのソフトボール同好会では ピッチャーとしても活躍さ
れ またカーブの大ファンでもあり カーブが勝ったときにはい
つも嬉しそうにスマイルをされていました
また落語をこよなく愛されておりました

あなたは人に優しく温厚ながらも芯がとても強く 同クラブの
メンバーからもとても愛される方でした
あなたの残された業績と ロータリー精神の教えは今後も福山西
ロータリークラブに広く受け継がれるものと思います

今頃天国では仲睦まじかった奥様と再会を果たしていらっしゃる
ことでしょう
どうぞ心ゆくまで楽しく語り明かしてください

クラブを代表いたしましたして 心からご冥福をお祈り申し上げます

令和五年四月七日

福山西ロータリークラブ

会長 笹田 博之

